

# 第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

評価機関認証番号 石川県07-014

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会

(訪問調査日：平成25年 4月26日(金))

## ②事業者情報

名称：社会福祉法人ミドリ保育園 ミドリ第二保育園

種別： 保育園

代表者氏名：理事長 塚野 良平

定員(利用人数)：90名

所在地：〒920-0373 石川県金沢市みどり3-23-2

## ③総評

### ◇特に評価の高い点

1. 個別懇談会(年2回)や保育参観、保育参加、日々の保護者とのコミュニケーションを通じて、保護者が相談や意見を述べやすい環境が整備されています。また、保護者から寄せられた意見に対して、速やかに検討・対応し、職員全体で情報共有する体制が整備されています。
2. 保育内容の充実を図るために、職場内でプロジェクトチームを作り、職員会議で挙げられた課題毎に、評価・分析・改善策の検討をしています。課題と改善策は、中長期計画に文書化し、長期的に改善に向け取り組んでいます。
3. 毎月1回以上、保育園を開放し、職員(保育士、看護師、栄養士)が、地域の未就園児とその親と、遊びや子育て相談を通じて交流しています。また、紙芝居やオイルマッサージ等の園の事業への参加も呼び掛けるなど、園の持つ機能を地域に還元し、住民との関わりを大切にしています。
4. 栄養士と調理員が、毎日クラスの食事の状況を観察し、時間に余裕がある時は、子ども達と一緒に会食しています。また、クラス担任からは、月に1回食事の様子や好みの味付けを聞くなど喫食状況の把握をし、子ども達がおいしく食事ができるよう献立や調理の工夫に活かしています。

### ◇改善を求められる点

1. より適正で透明性の高い法人運営を行うため、公認会計士や税理士等による外部監査を実施することを期待します。

## ④第三者評価結果に対する事業者のコメント

本園にとって2度目の第三者評価を受審しました。定期的に第三者評価を受審することで、前回からの改善点を見直す良い機会となりました。又、第三者評価を受審するにあたり職員の意識が向上したとともに、地域における保育園の役割について再認識させられました。受審の結果、改善点は早急に改善し、より地域に開かれた保育園になるよう努めて参ります。

### <参考：利用者アンケート結果>

実施期間：平成25年3月4日(月)～4月1日(月)

送付数：84通 回答数：52通(回答率 61.9%)

## ⑤評価細目の第三者評価結果(別添)

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
① 理念が明文化されている。	○ a b・c	<p>・パンフレット、ホームページ、入園のしおりに、次のとおり、保育理念が明文化されている。①たくさんの緑の中で明るく健康でたくましく、表現力豊かで思いやりの心をもった子を目指します。②保護者や地域との信頼関係を築き安心できる環境のもとで、共に子どもの成長を喜び合う保育園を目指します。</p> <p>・理念に基づき、次のとおり保育方針が明文化されている。①戸外遊びを通して自然に親しみながら身体を動かす。②さまざまな体験を通して自己発揮する。③たくさんの人や物と触れ合い、相手の気持ちになって考える。④地域に密着した保育園を目指します。</p>
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	○ a b・c	
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	○ a b・c	<p>・毎月の職員会議で、保育理念、保育方針等の確認を繰り返し行うことにより、職員に周知している。また、入園のしおり、パンフレット、ホームページ、園だよりを通じて利用者等に周知している。</p>
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	○ a b・c	

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
① 中・長期計画が策定されている。	○ a b・c	<p>・中長期計画が策定されている。その中で、課題や長期目標、中期目標、具体的に取り組むべき項目がまとめられている。</p> <p>・事業計画は、中長期計画で定めた具体的に取り組むべき項目(保育内容、組織体制、設備体制、人材育成、財政体制)を踏まえて策定されている。</p>
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	○ a b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ b・c	・園長と主任保育士が原案を策定し、中堅保育士との協議や職員会議での意見交換を踏まえ計画を策定している。10月と3月に計画の進捗状況を園長、主任保育士、中堅保育士が評価、見直しを行っている。
② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ b・c	・事業計画は、職員会議や保護者会、新入園児説明会等を通じて職員や利用者に周知されている。また、園だよりやホームページを通じて、わかりやすく伝える工夫を行っている。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c	・職務分担表において、管理者としての園長の役割と責任が明記されている。職員会議において園長がこれを表明している。
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	・園長は、県・市等が主催する施設長研修や法令遵守に関する研修等に出席し、遵守すべき法令等について職員会議で説明している。また、必要な法令等をリスト化し整備している。
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	・園長は、職員会議を通じて意見や提案をとりまとめ、全体で協議し、業務の効率化と改善に取り組むとともに、保育サービスの向上にリーダーシップを発揮している。
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

調査対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○ a・b・c	・園長は、行政や関係機関が主催する研修会やブロック内園長会、地域の会合等での情報交換等を通じて、事業経営を取り巻く環境の把握に努めている。また、社会福祉関係団体からの情報等により、社会福祉事業全体の動向を把握している。
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	○ a・b・c	・園長は、月ごとの在園児数の推移、職員の配置状況等を把握し、また、毎月の経常収支の状況を分析し、経営に活かしている。 ・園長は、職員会議において保育サービスの内容や施設整備等改善すべき課題を明らかにし、改善に向けて取り組んでいる。
③ 外部監査が実施されている。	a・b・○ c	・金沢市の指導監査による指摘事項などは理事会や職員会議で報告し、改善に努めている。今後は、より適正で透明性の高い法人運営を行うために公認会計士や税理士等による外部監査を実施することを期待する。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	○ a・b・c	・中長期計画の中に、目指すべき組織体制(必要な職員体制・有資格者の配置)や人材育成について位置づけている。
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	○ a・b・c	・園長は、人事考課の意義や基準について、職員に説明したうえで実施し、職員の仕事への意欲を喚起している。

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果	コメント
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・ <b>b</b> ・c	<p>・園長は、有給休暇取得表や時間外労働時間チェックリスト等により、職員の就業状況を定期的に確認し把握している。また、職員との個別面談を年2回以上設け、就業に関する意向を把握している。これらのことを踏まえ、就業状況の改善につなげている。</p> <p>・職員が相談するためのカウンセラーや専門家との連携は行っていない。</p> <p>・職員の福利厚生のため、金沢勤労者福祉サービスセンター及び社会福祉事業従事者互助会(退職金・貸付)に加入している。また、職員旅行や食事会なども行っている。</p>
②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	<b>a</b> ・b・c	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	<b>a</b> ・b・c	<p>・中長期計画の中で、基本姿勢として、子ども達・社会の模範となる保育士の育成、積極的に行動できる保育士の育成を目指すことを明示している。</p> <p>・経験年数及び役職、職種毎に分類した職員研修計画があり、これに基づき、職員一人ひとりの年間研修計画を策定している。また、定期的に研修の成果に関する評価を行い、必要に応じて研修計画の見直しを行っている。</p>
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	<b>a</b> ・b・c	
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	<b>a</b> ・b・c	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			
①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	<b>a</b> ・b・c	<p>・実習生受け入れマニュアルに意義、方針など基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。</p> <p>・事前に実習生と打ち合わせをして計画をつくり、実施後は、担当職員が実習生とともに評価をして、必要に応じてプログラムを修正している。</p>
②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	<b>a</b> ・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

Ⅱ-3 安全管理

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
①  緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	○ a・b・c	・リスクの種類ごと(業務、安全対策、不審者対応、事故防止対応、感染症対応、健康管理等)にマニュアルを整備し、それぞれのマニュアルの中で、責任と役割を明確にしている。これらのマニュアルをもとに、職員会議などで繰り返し研修を行っている。また、各種マニュアルは、定期的に見直しを行っている。
②  利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している。	○ a・b・c	・日常業務を通じて報告されるヒヤリハット事例や安全点検簿による点検結果の問題点等は、職員会議で発生原因を分析し、未然防止策を検討している。また、これらの事例を、利用者の安全確保のための研修に生かしている。

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	○ a b・c	・中長期計画に「地域の中の保育園を確立し、地域ぐるみでの子育てを行うことにより、子どもの健全な成長を促進する」と明示されている。また、保育理念・保育方針でも、地域とのかかわりの重要性を掲げている。
② 事業所が有する機能を地域に還元している。	○ a b・c	・紙芝居やオイルマッサージ等の専門家を講師に招き、地域の方々にも参加を呼び掛けている。また、地域の子育て中の親子が気軽に保育園に来て交流ができる「わくわくランド」を、年12回以上実施し、地域の子育て支援に取り組んでいる。
③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○ a b・c	・ボランティア受け入れマニュアルにより、受け入れに関する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
① 必要な社会資源を明確にしている。	○ a b・c	・市役所、児童相談所、警察、消防、医療機関などの関係機関・団体の連絡先をリスト化し、事務室に掲示している。また、これらの社会資源の役割や機能について、職員に周知している。
② 関係機関等との連携が適切に行われている。	○ a b・c	・地元小学校の担当教諭と職員との意見交換会や、地元の交番・消防との非常時の体制のあり方の検討などを通じて、連携を密にしている。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
① 地域の福祉ニーズを把握している。	○ a b・c	・地域の福祉ニーズに基づき、特別保育や金沢子育て夢ステーションなど具体的な事業を行うことにより、地域の子育て支援に貢献するという姿勢が、中長期計画に明示されている。
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	○ a b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	・法人の理念に「子どもたちの最善の利益を守り一人一人を大切にします」「法令遵守し個人の基本的な人権を尊重します」と明示している。3歳未満児クラスは担当保育士制を導入し、一人ひとりの子どもを尊重し、寄り添う保育に取り組むための環境を整えている。
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・b・c	・守秘義務、プライバシー保護に関する規程・マニュアルを整備している。また、プライバシーポリシーを作成し、園内での掲示、ホームページへの掲載を行っている。マニュアル等により職員への研修を行っている。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ・b・c	・保育参観、保護者会、保護者との個別懇談、今回の利用者アンケート等により、保護者の意向を把握し、その内容を園長、主任保育士が中心となり職員会議等で分析し、改善につなげる仕組みを整備している。
② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	・保護者の意向等の分析・検討の結果に基づいて、延長保育、年末保育の対応内容の改善や保護者が気軽に相談できる体制の整備に取り組んでいる。
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・b・c	・日常の保護者との連絡、会話を通して、相談や意見を述べやすい環境を整備している。利用者アンケートの結果から、利用者が相談しやすい環境にあること、個別面談・保護者会など話し合いの場が確保されていることが伺える。
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・b・c	・苦情等の受付から解決に至る仕組みや受付担当者・解決責任者・第三者委員を記載した文書を、玄関の掲示板に掲示し、ホームページにも掲載している。また、苦情等の申し出者に配慮したうえで、苦情内容、解決結果等をホームページなどで公表している。
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・b・c	・苦情等の受付から解決に至るまでのしきりを定めた苦情解決マニュアルに基づき利用者からの意見等に対して迅速に対応していることが記録から確認できた。受付、対応した記録はホームページなどで公表している。

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○ a・b・c	<p>・職員会議において、職員からサービス内容についての意見や提案を聴取する機会を設けている。このことを踏まえ年2回サービス内容の評価を行っている。評価結果は、園長と主任保育士が分析・検討し、あげられた課題ごとに職員のプロジェクトチームを設け、改善策を検討している。</p> <p>・評価の結果、あげられた課題と、その改善策は、中長期計画及び事業計画に文書化して掲げ、具体的な改善に取り組んでいる。</p>
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	○ a・b・c	
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	○ a・b・c	<p>・個々のサービスの標準的な実施方法は、業務マニュアルの他、オムツ交換・ミルク作り・午睡時・給食衛生管理等のマニュアルで示している。これらのマニュアルに基づき、職員採用時研修、職員会議、職場内研修を通じて職員に周知されている。</p> <p>・上記業務マニュアル等は、保育の質の向上と職員間の理解度を高めるため、年1回職員会議で協議し、見直しを行っている。見直しにあたっては、連絡帳や意見箱、保護者懇談会で寄せられた利用者の意見や、職員からの提案を反映している。</p>
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	○ a・b・c	<p>・児童票、健康診断、歯科検診、毎月の発育状況記録、個人発達記録(未満児)等、子ども一人ひとりのサービス実施状況の記録が適切に行われている。</p> <p>・園規則により、子どもに関する記録の管理体制が確立されている。</p> <p>・連絡ノート、遅番ノート、回覧ノート等により、必要な情報が職員に伝わる仕組みを整備している。また、毎月の職員会議・反省会議、毎週のクラス会議などを通じて、子どもの状況に関する情報の共有化を図っている。</p>
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a・b・c	
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二  
保育園:保育所共通評価基準)

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		・パンフレット、ホームページにより、法人・保育園の理念や方針、サービス内容、年間行事、日々の子どもの様子、給食レシピ等、写真を使い分かりやすく紹介している。保育園紹介ビデオは作成していない。
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・(b)・c	・サービスの利用開始時には、入園のしおり、パンフレット、保育料等に関する資料により説明し同意を得ている。保護者から同意を得た内容は書面では残していないが、今後、整備する予定である。
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a・(b)・c	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		・他の保育園へ変更する場合は、必要に応じて、退所児童申し送り書により変更先の保育園へ引き継いでいる。
① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c	・保育終了時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行っているが、その内容を記載した文書は作成していない。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		・児童票、児童発達状況票、家庭調査票、乳児用身体発育曲線等の組織が定めた様式により、アセスメントを行っている。年3回(6月、11月、2月)、児童発達状況票をもとに、アセスメントの見直しを行っている。
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a)・b・c	
② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a)・b・c	・各クラス担当職員は、アセスメントに基づき、一人ひとりの課題をまとめ指導計画を策定している。また、課題及び指導計画は、主任保育士が点検し、園長が最終確認を行っている。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		・サービス実施計画は、担当職員が立案し、職員会議で協議し、主任保育士・園長の合議により策定している。サービス実施にあたっては、保護者の意向を確認し同意を得ている。また、サービス実施状況や保護者の意向等を踏まえ、定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。
① サービス実施計画を適切に策定している。	(a)・b・c	
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a)・b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-1 子どもの発達援助

A-1-(1) 発達援助の基本

	第三者評価結果	コメント
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	○ a・b・c	・保育計画は、「たくさんの緑の中で明るく健康でたくましく、表現力豊かで思いやりの心をもった子を目指す」「保護者や地域との信頼関係を築き安心できる環境のもと、共に子どもの成長を喜びあう保育園を目指す」という保育理念のもと、「戸外遊びを通して自然に親しみながら身体を動かす」、「さまざまな体験を通して自己発揮する」など4つの保育方針と個別懇談や行事実施後のアンケート結果に基づき作成している。
② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	○ a・b・c	・指導計画は、3歳未満児は週毎に、3歳以上児は月毎に主任保育士がその達成状況を点検している。指導計画には、前月の評価と反省を記載する欄があり、それらを踏まえ翌月の指導計画を作成している。

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	○ a・b・c	・登園時に、クラス担任が子ども一人ひとりの健康状態を確認している。体調が優れない子どもがいた場合は、職員連絡ノートに記録し、朝礼で職員に伝えている。看護師1名を配置しており、保育中に子どもの体調変化やケガなどがあった場合は、看護師が健康管理マニュアルに基づき対応している。マニュアルには、発熱やケガをした場合の保護者への連絡基準や症状に応じた対処方法などが記載してある。
② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○ a・b・c	・内科検診は年2回実施している。検診後、必要に応じて囑託医と看護師が日々の保育で注意する点について意見交換を行っている。検診結果は、全職員に回覧し、情報を共有している。保護者へは連絡帳で報告している。
③ 歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○ a・b・c	・歯科検診は年2回実施している。検診結果は、各クラスの日誌に記録し、また、玄関のホワイトボードに、園全体の結果を記載し保護者に報告している。治療が必要な子どもの保護者には、個別に歯科検診結果を書類で渡し、速やかに治療するよう伝えている。

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	○ a b・c	・感染症に関するマニュアルを整備している。感染症が発生した場合、玄関に感染者が特定されないよう配慮したうえで掲示し、具体的な予防策や感染した場合の初期対応の方法を保護者に知らせている。職員には、職員連絡ノートや朝礼時に報告し、情報を共有している。
⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	○ a b・c	・0歳児は保育士と一対一で、1、2歳児は、落ち着いて食事がとれるよう複数のグループに分け、食事時間をずらしている。園庭には畑があり、トマトやジャガイモ、きゅうりなどの野菜を子ども達と一緒に栽培、収穫し、給食やおやつ材料としている。  ・各クラスの給食の摂取状況は、給間食日誌で栄養士と調理員に報告している。また、栄養士と調理員は、毎日どこかのクラスの食事の様子を見る時間を設け、時間に余裕がある時は、子ども達と一緒に話をしながら食事をしている。これらのことを通じて、子どもの喫食状況を把握し、献立作成や調理に活かしている。
⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	○ a b・c	・0歳児保育参観と入園時保護者と一緒に食事をしている。その際、栄養士が、献立や食事の大切さ、食器の安全性などを説明した資料を配布している。発育期の食事の大切さや食材の産地などを給食だよりやホームページで保護者に伝えている。
⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○ a b・c	・アレルギー疾患を持つ子どもへの対応は、主治医からの指示書に従っている。指示書は、半年ないし1年に一度、保護者から提出してもらい、疾患状況を確認している。取り違えの無いよう食器の色を分ける一方で、味や見た目、栄養価は他の子どもと差が出ないように配慮している。
⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○ a b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(3) 保育環境

	第三者評価結果	コメント
① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての保育室に、自然の光が入るよう窓が設置されている。また、エアコンや温湿度計、加湿器（0歳児室のみ）を設置し、子ども達が快適に過ごせるよう管理している。園内は、毎日清掃するほか、月に1回、園内外の安全点検を行い、不備があれば速やかに整備している。</li> </ul>
② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児クラスは、子ども一人ひとりに担当、副担当制を設け、特定の保育士が継続した関わりが持てるよう配慮している。各保育室にはソファや畳があり、眠くなったり体調が優れない時に休むことができる。また、気軽に屋外で活動できるよう3歳未満児用に園庭に芝生を敷いたり、3歳以上のクラスにはウッドデッキスペースを設けている。</li> </ul>

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	○ a・b・c	・ 3歳未満児クラスは子ども一人ひとりに担当保育士と副担当保育士を決めている。3歳以上児クラスでは、毎日わずかな時間でも子どもと保育士が一对一で話す時間を設けている。信頼関係を作るため、子どもとは目を見て話し、認めて、誉めて、自信を付けさせるように心掛けている。
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○ a・b・c	・ 排泄や衣類の着脱などの基本的な生活習慣は、子ども一人ひとりのペースを尊重している。食事の時など時間に余裕を持たせ、嫌いなものは口に入れることから始め、時間をかけても一口食べるまで待つなど、子どもが小さな達成感を積み重ねることで自信を持てるように配慮している。
③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	○ a・b・c	・ 発達段階に応じた様々な玩具や遊具、絵本などが用意してある。各クラスでは子ども一人ひとりが、自分の好きな遊びを選べるよう複数の遊びのコーナーを設けている。また、登降園前と降園後に自由遊びの時間があり、年齢や興味に応じて自由に遊ぶことができる環境になっている。
④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	○ a・b・c	・ 隣接する公園や近くの用水路沿いなどに、天気の良い日は散歩に出かけ、そこで見つけた草花や昆虫を、当番制で子どもが育てている。また、地域の高齢者を招いての交流会、バザー、警察署への訪問、毎月行う園周辺と隣接する公園の清掃など地域との関わりを大切にしている。
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	○ a・b・c	・ 年齢に応じて、子ども一人ひとりにクレヨン、粘土、自由画帳などが用意してある。また、簡単なリズム楽器や旋律楽器なども用意してある。クラス活動や自由遊びの時間、園行事などの際、それらを使用している。
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	○ a・b・c	・ 異年齢児保育や配膳、飼育などの当番活動、集団遊びを通じて、ルールを守ることや相手を思いやる気持ちを育てている。子ども同士のトラブルは、人間関係を築く良い機会と捉え、子ども同士で話し合い解決するよう促している。

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
⑧ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	○ a b・c	・日々の保育において、子ども一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしている。子ども達は認められることで他人への安心感や自分に対する自信が芽生え、それがお互いを認め合い助け合う心を育てている。
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	○ a b・c	・子ども達の服装や園で使うトイレスリッパの色は、子どもの好みを尊重している。また、集団遊びやごっこ遊び、野菜の収穫やクッキング活動などの際も男女に関係なく役割分担している。
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○ a b・c	・乳児用の連絡帳には24時間サイクルで生活リズムが書かれており、一人一人の生活リズムに合わせて、授乳、睡眠、おむつ交換が行われている。オムツ交換マニュアル、午睡マニュアル等があり、安全確保の手順を標準化している。 ・午後6時以降は延長保育とし、家庭での夕食を考慮したうえで、おやつを提供している。午後4時以降は、3歳未満児と3歳以上児とを、それぞれ異年齢児保育している。保護者への連絡、確認事項は職員連絡ノートにより記録し、引き継ぎを行っている。
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○ a b・c	・園の研修計画に基づき、職員が障害児保育に関する研修に参加している。年2回、教育プラザ富樫の巡回に合わせ、発達障害に関する相談窓口を設け保護者の相談に応じている。また、発達障害に関する相談窓口のパンフレットを玄関に掲示するなどの情報提供をしている。
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○ a b・c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-2 子育て支援

A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果	コメント
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え個別面談などを行っている。	○ a · b · c	・年2回、個別面談を行い、また、日常的な情報交換は、登降園時に連絡帳や口頭で行っている。また、保護者の状況に応じて、プライバシーに配慮した上で随時、相談に応じている
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	○ a · b · c	・個別面談や日々の保護者との情報交換の内容は、家庭調査票、児童票、保育日誌などに記録し、職員会議で情報を共有している。記録は、園長と主任保育士が、ばらつきや漏れがないよう確認している。
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○ a · b · c	・年2回(6月と2月)、保育参観を行っている。また、親子参加型の行事や日常保育を保護者が体験する保育参加を年に数回行っている。  ・児童虐待対応マニュアルを事務室に整備し、職員の誰もが、いつでも見れるようになっている。マニュアルには、発見から通報までの流れや、教育プラザ富樫や警察などの関係機関の連絡先を明示してある。
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	○ a · b · c	・事務室には、児童相談所、警察など照会、通告の際に必要な連絡先が掲示してある。
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	○ a · b · c	

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-2-(2) 一時保育

	第三者評価結果	コメント
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	○ a・b・c	・クラス担任をもたない保育士が配置され、一時預かり保育担当者となっている。ほふく室を兼ねた保育室を利用し、無理なく在園児の活動に入れるよう、受け入れ時に子どもの特徴を保護者から聞いている。 また、保育園での様子は在園児同様、連絡帳により保護者に伝えている。

A-2-(3) 地域における子育て支援

	第三者評価結果	コメント
① 地域の保護者等に対する子育て支援を行っている。	○ a・b・c	・月に1回から2回、保育園に入園していない0歳から2歳児とその保護者を対象に「わくわくランド」という子育て支援事業を行っている。保育士、看護師、栄養士が、参加者からの個別相談に対応したり、園の行事と一緒に参加するなど、地域の子育て家庭を支援している。 ・わくわくランドなどのチラシやポスターを作成し、近隣のスーパーマーケットや病院に配布し、広く事業の周知を図っている。

評価細目の第三者評価結果(ミドリ第二保育園)(保育所版サービス内容評価基準)

A-3 安全・事故防止

A-3-(1) 安全・事故防止

	第三者評価結果	コメント
① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食・安全対策マニュアルや安全点検簿に基づき、栄養士を中心に職員全員で役割分担の上、衛生管理を行っている。保健所の巡回指導や職員が外部研修に参加した後に、確認を兼ねて職員会議でマニュアルの見直しを行っている。</li> <li>・給食・安全対策マニュアルの中に、食中毒発生時のマニュアルがある。食中毒、感染症が発生しやすい時期や職員が外部研修に参加した後に、確認を兼ねて職員会議でマニュアルの見直しを行っている。</li> </ul>
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知されている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検簿、園外保育マニュアル、園外事前点検簿に基づき、事前点検している。また、各クラス毎にヒヤリ・ハット事例を記録、集約し、それらをもとに職員会議で発生原因の分析や防止策を検討している。</li> </ul>
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策マニュアル、防災対策マニュアルがある。園の研修計画に基づき外部研修に参加した後、園内でマニュアルの見直しを含めた園内研修を行い、職員に周知している。事務室と倉庫に食糧、飲料水、医薬品等を備蓄しており、9月と3月の避難訓練後に、それらの消費期限を確認している。</li> </ul>
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策マニュアルの中に、不審者侵入時のマニュアルがあり、年に一度、職員会議において見直しを行っている。また、不審者侵入を想定した避難訓練後にも職員間で話し合い、確認、見直しを行っている。</li> </ul>
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b・c	